

## 「3年実習」シラバス

沖縄県立那覇工業高等学校

教科名	対象学科	学年	科目名	単位数	学期	必修・選択
工業	グラフィックアーツ科	3	3年実習	6	全	必修
使用教科書			補助教材			

### 1 科目の目標

- DTP・印刷：印刷産業に関わる技術の集大成として、企画→デザイン→編集→製版→印刷→製本までの一貫した製作を通して、印刷産業界において活躍できる人材の育成を図ることにある。また「沖縄の民話」をテーマに、作品作りに取り組み、印刷・製本を行い、カラー印刷の原理を理解させる。
- スタジオ撮影の機材の取扱いと撮影の応用を学習する。また PhotoShop の画像処理を学ぶ。
- Tシャツプリントの作品を制作することで、孔版印刷の仕組みと技術を学習する。

### 2 学習の方法

- DTP・印刷：企画では沖縄の民話の取材やアイデアやカンパ制作、DTP 実習では MAC を利用した画像編集技術の習得を学習し印刷実習においてはカラー印刷原理を実際の印刷を通して学習する。
- スタジオ撮影に必要な機材や出力機器等（ストロボ装置、デジタルカメラ等）を使いこなす。また、撮影した画像を PhotoShop で修正・加工する。
- イラスト原稿ををカラーで作成し、色ごとに画線部を黒で作らせカラー印刷の仕組みを学習する。  
・版の準備やインク調合、感光乳剤や紫外線による焼き付けなど孔版印刷の技術を学習する。

### 3 評価の方法

- 次の四つの観点に基づいて学期毎に評価し、1・2学期は素点化します。三学期は年間を通して総合的に判断して五段階評定をします。

評価の観点	内 容	評価方法
①関心・意欲・態度	完成度の高い作品を目指し、自ら進んで意欲的に取り組んでいるか。	自ら進んで課題に取り組んでいるかを判断します。
②思考・判断	各コースでの課題を的確に判断し作品づくりを進めているか。	授業参加態度、課題毎の評価をします。
③技能・表現	1年で学んだ基礎技術を理解し、適切に作業しているか、また応用できているか。分かり易いプレゼンテーションができているか。	作品のコンセプトなどプレゼンテーションを行い評価します。
④知識・理解	各コースで学習した知識や技術をよく理解し、またレポートなどがまとめられているか。	進捗状況を定期的に報告ができるかをチェックします。

### 4 その他

- 学期ごとにレポートを作成し提出する。
- 学校外へ撮影・取材などの実習が伴うので、水分の補給や安全には十分気をつける。
- 危険をともなう工程があるので、ふざけたり走り回ったりなど無いよう安全には十分気をつける。

5. 年間計画

班	週数	時数	単元名	指導内容	目標・留意点	学習活動 (評価方法)
D T P	35	6 30 12 36 18	導入 企画 カンブ 挿絵制作 カンブ作成	・沖縄の民話制作をテーマにコンセプト発想 ・サムネール作り ・下絵、転写、彩色 ・デジタルカンブ作成	・企画力、発想力や表現能力を育成する。 ・年齢目標(小学校低学年まで)に応じた絵本作りに心がける。 ・アナログデータをデジタルデータへ変換させる。	・授業態度 ・学習意欲 ・作業内容 ・レポート などで評定します。
		6 6 54 18 18 6	概論 原稿確認 ページネーション 校正出力 データ確認 レポート指導	・DTP業界について ・各素材の確認 ・写真の補正とトリミング ・台紙作成の基本ルール ・ロゴや文字データの作成 ・レイアウトの基本と作成 ・文字やイメージの校正 ・CTP転送のデータ確認	・DTP作業の基本ソフト(InDesign・Photoshop・Illustrator)の利用技術を習得させ、印刷関連職種に興味関心を抱かせる。	
スク リ ー ン 印 刷	35	12  192  6	導入 概要  展開  レポート指導 まとめ 鑑賞・考察	・孔版印刷の概要、及びアイディアスケッチ。 ・ポジティブの原稿作成による画線部の作成。 ・版の準備インク調合。 ・乳剤塗布、乾燥、焼き付け、水洗。 ・試し刷り、修正。 ・本刷り。 ・作成指導と提出 鑑賞、考察。	・孔版印刷の仕組みシルクスクリーン印刷の作成手順、技術を身に付ける。 ・色ごとに画線部を黒で作成することでカラー印刷について理解させる。 Tシャツ等に印刷を行う。	・授業態度 ・学習意欲 ・作業内容 ・レポート などで評定します。
		35	6 6 18  18 54 18 12 12 30 30 6	平版印刷の概要、安全操作 製版工程 ・SDP概論 ・面付け作業と ・RIP展開 ・印刷版出力 データ転送 プレート確認 セッティング 印刷 事後処理 荒断ち、検品 丁合い 製本工程 断裁工程 レポート指導	・平版印刷の仕組みと工程 ・安全な使用方法について ・CTPについて ・出力データの面付け作業とSDPでのRIP展開の実際 ・刷版の出力と点検 ・展開データをメディアへ保 存し印刷機械へ転送準備 ・プレートの検版及び枚数 ・印刷前の準備と調整 ・印刷作業と片づけ ・印刷物の検品、評価 ・品質管理の徹底と検品 ・製本の準備 ・製本機による並製本 ・断裁機による化粧裁ち ・作成指導と提出	・印刷機械とCTPの作業工程と操作技術を習得させ、印刷関連職種に興味関心を抱かせる。  ・後加工である検品、丁合い、製本、断裁などの作業工程と操作技術を習得させ、関連職種に興味関心を抱かせる。
写 真 ・ ス タ ジ オ	35	72  60  72	撮影技術 ・野外撮影 ・スタジオ撮影 ・商品撮影 露出計の操作 ライティングの設定方法 肖像写真撮影 ・現像処理 画像処理ソフト	・カメラの操作及び撮影技術の応用について ・露出計で人工照明の適正露出を計り、デジタルカメラで肖像写真を撮影する。 ・フィルム現像処理及びプリント仕上げまでの工程作業練習を繰り返す。 ・画像処理(Photoshop)、ソフト利用方法を繰り返す。	・カメラの操作と撮影状況への適切な対応を習得する。  ・露出計の使い方を知り、どんな照明条件でも撮影ができるように技術を習得する。  ・画像処理ソフトの活用技術を習得する。	・授業態度 ・実習作品 ・レポート ・学期末に総合的に判断し5段階評定します。
		合計	210			